

2025 年度 相談支援センターふーぶ（H00P）事業報告書

主任 久永結香

1. 事業内容

- ・ 指定特定相談支援事業
- ・ 障害児相談支援事業

2. 利用者の状況

（1）相談支援事業登録者数（令和 8 年 3 月 31 日現在）

計画相談支援（成人） 92 名

障害児計画相談支援 19 名

合計 111 名

（2）計画作成及びモニタリング件数（成人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
計画作成	9	5	5	4	14	10	5	9	5	9	5	7	87
モニタリング	13	20	15	23	16	17	10	20	17	23	18	20	212
合 計	22	25	20	27	30	27	15	29	22	32	23	27	299

（3）障害児計画作成及びモニタリング件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
計画作成	4	3	5	1	0	1	2	1	1	3	1	3	25
モニタリング	2	2	4	2	3	10	2	5	7	1	2	7	47
合 計	6	5	9	3	3	11	4	6	8	4	3	10	72

総件数 371 件

3. サービス提供の状況

【指定特定相談支援事業】

本人や家族の体調やライフステージの変化が多く、計画変更の多い 1 年であった。緊急対応を求められる場面も少なくなかったが、意思決定支援を重視し、利用者本人の人生であるという視点を軸として支援を行った。

【障害児相談支援事業】

障害や特性があっても、地域校・特別支援学校において、子どもたちそれぞれが自分らしく学び、仲間と過ごせるように、保護者・学校・事業所と連携し支援を行った。

【職員研修・関係機関連携】

- ・ 「2025 年度 ペアトレ・トレーニング ファシリテーター養成講座」（4 月 1 名参加）
- ・ 「令和 7 年度 奈良県ファシリテーター養成研修」（7 月 1 名修了）
- ・ 「発達障害と認知症を考える」（10 月 2 名参加）
- ・ 「障害のある人の『きょうだい児』から暮らしを考えるセミナー」（2 月 2 名参加）
- ・ 「てんかんがあっても 安心して暮らせる地域に」（3 月 1 名参加）
- ・ 奈良市地域自立支援協議会 相談支援事業所連絡会議（7 月、12 月参加）
- ・ 奈良市地域自立支援協議会 相談支援部会 事例検討会（毎月参加）
- ・ 令和 7 年度奈良県相談支援従事者初任者研修 ファシリテーター及び実習受入

(主任相談支援専門員としての活動)

4. 事業の成果

- ・意思決定支援を重視した関わりにより、利用者本人の意向を尊重した計画作成・支援が継続できた。
- ・関係機関との連携強化により、緊急対応を含めた柔軟なサービス調整が図られた。
- ・支援を通じて地域校・地域での受け入れ環境が整い、療育機関への通所を終了した児童が数名いた。

5. 課題

- ・現在は相談員2名で対応しており、業務量に対して人員が限られている。次世代を担う相談支援専門員の育成が課題である。

6. 収支状況および予算執行の評価

- ・質の高い相談支援を実施するため、モニタリング頻度の見直しを行った結果、モニタリング件数が増加し、当初見込みを上回る収入となった。また、主任相談支援専門員の配置により主任相談支援専門員配置加算(Ⅱ)を算定したこと、および緊急対応等に伴う計画作成件数の増加も収入増に寄与した。

7. 今後の取り組み

- ・引き続き、指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業ともに現状の支援水準を維持し、利用者・家族が安心して地域生活を継続できるよう努める。
- ・相談員の資質向上のため、研修参加や関係機関との連携を継続する。